

## 「ビジネス環境の現状 2010」の構造改革上位 10 カ国

今年、東欧、中央アジア、中東、北アフリカで特に活発な構造改革への取り組みが見られた。「ビジネス環境の現状 2010」では、リベリア、アラブ首長国連邦、タジキスタン、モルドバの 4 カ国が新たに構造改革上位 10 カ国にランクされた。その他に、コロンビア、エジプト、ベラルーシ、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、キルギスなどがランク入りしている。コロンビアとエジプトは過去 7 年間に 4 回、構造改革上位に入っている。

2008/09 年 構造改革上位 10 カ国

Economy	Starting a business	Dealing with construction permits	Employing workers	Registering property	Getting credit	Protecting Investors	Paying taxes	Trading across borders	Enforcing contracts	Closing a business
Rwanda	✓		✓	✓	✓	✓		✓		✓
Kyrgyz Republic	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓		
Macedonia, FYR	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
Belarus	✓	✓	✓	✓			✓	✓		
United Arab Emirates	✓	✓						✓		
Moldova	✓			✓			✓			
Colombia	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓		✓
Tajikistan	✓	✓			✓	✓				✓
Egypt, Arab Rep.	✓	✓			✓				✓	
Liberia	✓	✓						✓		

「ビジネス環境の現状」が構造改革を取り上げて以来初めて、アフリカのサハラ以南からルワンダが構造改革ランキングで 1 位となった。ルワンダは 2001 年から、商法と政府機関の改革に着実に取り組んでいる。この 1 年間には起業手続きを簡略化し、少数株主の権利を強化する新しい会社法を成立させている。これによって起業家は 3 日間、2 回の手続きで会社を設立できる。ルワンダはまた信用供与を受けやすくするための規制緩和を目的に新法を制定した。その他にも、不動産登記と歳入庁の事務処理遅延を解消し、不動産登記に必要な日数を 255 日間短縮した。ルワンダは 10 分類中 7 分類で構造改革を実施し、ビジネス環境ランキングで 143 位から 67 位に上昇した。

構造改革上位 10 カ国すべてが起業手続きの簡易化を導入し、10 カ国中 8 カ国が建設許可を容易にしている。マケドニアでは、中央登記所が必要な会社情報を担当政府機関に転送するため 4 日間で起業することが可能になった。複数の文書について公証の義務が廃止された。モルドバは追加料金で優先的に処理する 24 時間の法人登記サービスを提供している。エジプトとアラブ首長国連邦は最低資本要件を廃止した。

こうした構造改革は時宜に適っている。新興国経済の企業の多くは、輸出需要の低下や民間資本の流入減に苦しんでいる。同時に、低所得経済の企業は、起業、不動産譲渡、税申告や裁判による商業争議の解決などで、高所得経済の企業の 2 倍以上の負担を強いられている。先進国経済の成人一人当りの新規法人登記件数は平均でアフリカや中東の 10 倍、企業密度は新興国経済の 4 倍に上る。

出所： IFC AND THE WORLD BANK

■当資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性について弊社が保証するものではありません。当資料に掲載されている数値、図表は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果および市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は投資家の皆様にエジプト市場のご理解を高めて頂くために作成した資料であり、証券取引法、投資信託及び投資法人に関する法律に基づく開示資料ではありません。また、特定ファンドの勧誘、販売を目的としたものではありません。